

# ベントグリーンの夏越し

コース管理って沼...  
でも楽しい!

ゴルフ5カントリー美唄コース  
グリーンキーパー 出倉 敏明

## ■はじめに

私がコース管理の職に就いて、ちょうど20年になる。そのうちキーパーとしては3年と若輩者。現在の勤務コースは、北海道美唄市にあるゴルフ5カントリー美唄コース（ピート・ダイ設計、1993年開場、27ホール）だ。2016年には国内女子ツアー『ゴルフ5レディスプロゴルフトーナメント』を開催した。

ここ美唄市は東西に山々を抱く



平野で、1年を通して風が吹き抜ける。コースもフラットで一見イージーなレイアウトに見えるが、美唄の風が難易度を上げていく。田園風景に囲まれているがリンクスのような雰囲気、風が演出してくれる。プレーヤーにとって強敵である美唄の風は管理にとってもかなりの強敵であり、うまく付き合わなければ簡単に負かされてしまう。

経験が浅いながらゴルフコースを管理していく上で重要だと感じていること、それはコースの「クセ」をつかむことである。芝そのものはもちろん気象条



件、土壌構造など芝草を取り巻く環境のクセを把握しうまく付き合う事。さらには運営サイドの求める事、管理予算、管理従業員のレベルなどもそうである。クセを把握し柔軟に対応しなければ維持管理は困難であると痛感している。そんな美唄コースでのペント管理について述べさせて頂く。

### ■気象条件

近年北海道でも猛暑が続き、日数でこそ本州よりも少ないが30℃を超えるのは当たり前、ここ美唄が最高温度地点となったこともある。昨年は記録的猛暑に見舞われ、干ばつ被害は甚大で6月、7月の



まる2カ月雨が降らなかった。さらに美唄の風がコースを激しく乾燥させる。4

月から11月までの8カ月間、無風の日が1日もない。毎日平均5m前後の風があり、最大風速10m以上はざらである。またコース内に樹木はほとんどなく、地表面を



風が吹き抜けるためあつという間に乾燥する。そんな中当然散水は行っていたが、雨がなかったため用水の確保も困難となり、最終的にはグリーンへの散水しかできない状況となってしまう。日に日にグリーン以外の部分は枯れていき、全面枯死状態にまで追い込まれた。

### ■作業状況

グリーンの刈高は2・8〜3・2mm、グルーミング（GL+0・5〜1・5mm）も随時行っている。刈込だけで9フイットを維持するための設定を心掛けている。機械は乗用3連を使用。タイヤの轍や刈込ストレス低減のため、1〜2日おきに外周を刈り込む。更新作業はムクでのエアレーションを年4回、バーチドレン（深度180mm）を春秋2回、サッチング（2・5〜3・

0mmダブル）を1回行う。コアリングをやめて4年になるが、サッチ層は減りファームネスも以前より向上した（平均22〜23）。目砂は月1回を目標としているが、コスト、人員不足でなかなか達成できていない。散布する際は薄目砂を行っている（0・5〜2mm）。



昨年の猛暑の中でも低刈を続けた。ティやフェアウェイの状態が悪い中でも来場してくださったお客様にせめてもの気持ちをし、思い6月から9月まで2・8mmで刈

込を続けた。そのような高温の状態でも低刈を可能にしているのは PGR 剤（成長調整剤）である。伸長を抑制し、密度を上げヒートストレスから守ること、サッチコントロールを目的で使用している。2018 年行った芽数調査では 23 本だったが、2019 年 36 本、2020 年 45 本まで密度を上げることができた。多すぎるのもよくはないが、クオリティを下げずに夏を乗り切るには密度は高い方が良く、私は考えている。

■施肥・水分管理

窒素分の年間目標数値は 12g/m<sup>2</sup> に設定しているが、正直もう少し与えないと持たない部分もある。当コースは大きな池が 7 カ所あり、池に面したグリーンに関しては肥料切れとなるのが早い（科学的根拠はないが…）。よってトータルで多めになるよう、または部分的に窒素を入れるよう注意している。また、風による乾燥対策で散水回数が多くなってしまうので、窒素流亡分を加味しての施肥を意識している。基本的には緩効性の粒肥を軸に、液肥散布で窒素は入れず微量要素などサプリメントと浸透

剤散布を行う。

浸透剤に関しては 4 月より使用を開始、9 月まで 6 回散布をしている。雪解けと同時に乾燥期が来る北海道。雨量が増える 6 月までは油断できない期間であり、人員が少なく手散水でのケアが難しい当コースでは、スプリンクラーでの夜間散水を多用している。スプリンクラーだけでは水分分布の均一化が難しいため、浸透剤を使用し、極力均一に水分を保持できるようにしていくことで省力化を図



っている。また効率よく水分を浸透させるために、ムクによるエアレーションも併用していく。日々の水量チェックも欠かせない。当コースでは 3 年前より POGO システムを導入。これは計測地点を GPS で測位、マッピングしてくれるものでグリーン上の土壌水分・EC・CEC・表面温度・地中温度が可視化されるものだ。コースによつてそれぞれの適正な基準を設定することにより、過不足を色分けして表示くれるので誰が見ても一目瞭然。また

ては作業指示ができるので、心配事を減らすことができる一つのツールである。

データはクラウド上にアップロードするため、いつでもどこでも閲覧できる。土壌中の水分だけでなく、CEC もわかることで肥効の状態を判断する材料にもなる。さらにキーパーが現場を外しても水分量チェックができ場合によつ

散水設備の維持管理も重要である。当コースの用水は地下から汲み上げるのがメインだが、あまり水質がよいものではなく月 1 回は必ず散水ポンプのストレーナー清掃を行う。清掃を怠ると水圧が下がるほどに汚れてしまう。それに合わせてスプリンクラーのフィルタ清掃もしていく。開場から 30 年が経過しており、老朽化してしまったスプリンクラーヘッドや電磁弁部品の交換も随時進めながら散水作業を行っているが、ルーティンワークをしながらになるため満

足にはできていない。

## ■草種

造成時に使用された品種は「ドミネント」であるが、今現在どの程度残っているのか微妙である。カタビラの混入率は5割程度。不思議なことに耐暑耐病性が強く、ベント部がしおれてもカタビラは相変わらずな状態が見受けられたことから、インターシードの必要性を認識。3年前から開始したが、使用品種は「アルファ」を選択。アルファは発芽率が高く、播種後1週間で発芽を確認できている。毎年行うサツチング時に砂と一緒に散布（5g〜6g/m）し、擦

りこみを行っている。アルファを選択したもう一つの理由にカタビラへの抵抗性がある。元々この品種開発時にカタビラと競合できるものだけが残され、アルファだけがカタビラを駆逐したという試験データがある。カタビラの除草剤は使用せず出穂抑制剤のみ使用しているが、毎年アルファを播種することでカタビラを減らし、出穂抑制剤の減量も可能ではないかと考えている。

## ■今後の夏越し

北海道のゴルフ場は、越えなければならぬ山が夏と冬2つある。どちらかでもうまくいかなければ悪循環を生み出し、回復修復作業に時間を取られ維持管理が難しくなってしまう。

特に夏に関しては年々平均気温が上昇し、夏越しのハードルが上がっている。それはグリーンだ

けでなく、ティもフェアウェイもそうである。現在考えているのはティのベント化である。試験的に始めているが、やはり耐暑耐病性匍匐性を考えるとベントの方が維持しや



すいと感じ始め、今年から試験している。もちろんベント管理は簡単ではないことは重々承知の上だが、このままでは毎年芝が焼けていくのを繰り返す、ゴルフ場の商品であるコース品質を下げてしまう。どうにかしてコース全体の夏越しを成功させたいと思い、試行錯誤している。

## ■コース管理という職種について

自分の職業を聞かれ答える時に、グリーンキーパーもしくはコース管理と答えてもピンとこない人が多い。要は



芝刈りです」と説明して初めてわかってもらえる。本当に特殊でマニアックな職業だが、深く面白い職だと私は思う。ただ認知度が低いこともあり、人員の確保が非常に難しく従業員の高齢化が止められない。何とかこの職に関して知ってもらいたいとSNSで美しいコース風景を上げてみたり、今後は作業に関する動画も作成し、少しでも広まればと思う。



また、職場環境の整備も進め、若者を受け入れる体制を構築することも重要だと思う。いずれにせよゴルフコースを管理するのは「人」。その「人」を育てていかなければコースも育つことはない。私はコースと従業員に対して4..

6の配分で労力を使うように気を配っている。

■最後に

私が勤めるゴルフ5カントリー美唄コースの支配人は「コースあつてのゴルフ場」という考え方で非常に助けられている。アメリカと日本のゴルフコースでの大きな違いは、コースに対する考え方（重要度）ではないだろうか。あくまでもお客様はゴルフをプレーしに来場する。そのお客様は商品であるコースに対し、お金を払う。滞在する時間の大半をコース上で過ごすのだから「コースあつてのゴルフ場」という考えは尤もだと思ふ。もちろん付随するサー

ビスも重要だが、コロナ禍でゴルフ人口が上昇傾向にある昨今、もう一度コースに対する認識を見直してみるべきではないだろうか。そうすることでコースの価値が上がり、お客様も増えコースを維持しやすくなるのではないだろうか。



コース管理のロングセラー

好評発売中!

大改訂版『芝草管理用語辞典』 眞木 芳助 著

新たに543語、5万字を追補  
収録語彙数 3357語

【巻末付録】

芝草新品種の形質評価、芝草適用登録農薬・主要病害・緑化樹・灌木類一覧、英和対訳集

B6判 440頁 定価 4,400円(税込、送料別)

お申し込みは一季出版(株)まで